

422.6.4(金)

受診者のためらい軽減へ 乳腺検査 女性が担当

県立広島病院 病気の早期発見促進

県立広島病院(広島市南区)は3日、女性の医師と技師による乳腺精密検査を始めた。検査へのためらいを軽減し、乳がんの早

期発見・治療を促進する。

女性だけの精密検査は、しこりのある人や1次検診で乳がんが疑われる人を対象に、月曜日と木曜日の午前9時11時に開く。女性技師が、マンモグラフィ(乳腺エックス線撮影)と超音波検査(エコー)を担当。乳腺外科の野間翠医師(33)が視触診する。

乳腺精密検査はこれまで週2回、男性医師が担当していた。初日に受診した安佐北区の主婦(50)は「女性スタッフなので、任せやすく、緊張もしなかった」と話していた。

1次検診については既に、広島市内の健診施設や病院で、女性ス



検査結果を説明する野間医師(左)

タッフだけの実施が広がっている。同病院乳腺外科の角舎学行部長は「1次検診で要精密検査の結果が出て、恥ずかしがって精密検査を受けない人もいます。検査を受けやすい環境づくりを努めたい」と話している。同病院 ☎ 082(252)6241。(衣川圭)